

雀 (1926)

SPARROWS

メディア 映画

ジャンル ドラマ ファンタジー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 82分

初公開日 1926/09

公開情報 劇場公開

【解説】

南部の沼沢地の農園に、預かった子や孤児を閉じ込めて働かす悪漢グライムズ一家。最年長の娘モリーは凧を飛ばし、救援を乞うメッセージを送ろうとするが失敗。ところが、グライムズが誘拐事件に関わって、預かることになった天使のような赤ちゃんが、彼らを解放に導いていく。当時33歳のピックフォードが推定年齢13歳の少女を何の違和感もなく演じる無声メロドラマ。彼女率いる“9人の孤児と1人の赤ちゃん”も、子役が揃って愛くるしく、グライムズの馬鹿息子のヒールぶりもなかなか達者。底なし沼やアリゲーターを避けて逃亡を企てる後段などセットも見事で、ちょっとした冒険活劇の感が強い（更にもその上、ミシシッピ河を舞台にボート・チェイスまでである）。題名の“雀”は、子供らが自分らの境遇を嘆く時に、“神様は小さな雀にも心を痛める”と主人公が喩えて使う励ましの文句から取られており、そうした信仰的ムードが濃厚で、聖書画そっくりのキリストが動き出す幻想シーンなどもわかりかし無理なく物語に溶け込んでいる。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ボーダイン	William Beaudine
原作	ウィニフレッド・ダン	Winifred Dunn
脚本	C・ガードナー・サリヴァン	C. Gardner Sullivan
撮影	チャールズ・ロッシャー	Charles Rosher
出演	メアリー・ピックフォード	Mary Pickford
	ロイ・スチュワート	Roy Stewart
	メリー・L・ミラー	